



社会の鏡

こどもが与えてくれるもの



2019.5.23 Thu. 18:00-20:30

@豊中キャンパス・大阪大学会館2階 SSI豊中ラウンジ

●参加費: 1,000円 ●定員: 先着20名

大阪大学は、日本や世界が直面する様々な社会課題に対して解決方法を提示し、さらに学問的にも真理を追究するためのシンクタンクとして「社会ソリューションイニシアティブ (SSI)」を昨年4月に始動させました。SSIは「命を大切に、一人一人が輝く社会」を目指し、定期的にSSIサロンを開催して、喫緊の社会課題について研究者や実践家や学生の皆様とともに考えてまいります。

趣旨

こどもは、「社会の鏡」と言われます。明るく、生き活きとして、優しいこどもたちに溢れている社会は、おとなたちが明るく、生き活きとして、優しいからだと言えるでしょう。SSIの究極目標である「命を大切に、一人一人が輝く社会」を実現するためには、まず、こどもたちの命を大切に、一人一人を輝かせることから始めなくてはなりません。特に、貧困の中にあったり、心身に平均とは異なった特徴をもっていたりするこどもたちは、その社会の本心を写し出す鏡と言えるでしょう。今回のサロンは、このような問題意識から、長年こどもの問題に取り組んで来られた方々のお話を聞き、今、何を為すべきかについて話し合います。

プログラム

18:00 開会挨拶 堂目卓生 SSI長・経済学研究科教授

18:10 話題提供 片山泰一 連合小児発達学研究所教授「子どもの発達の可視化を通して了解可能な社会を目指す」

高橋美恵子 言語文化研究科教授「子どもの最善の利益を考慮した子育て環境 -スウェーデンの取り組み」

勝部麗子 豊中市社会福祉協議会福祉推進室長

「ひとりぼっちをつくらない 一人一人が大切にされる学校・家庭・地域に - 豊中のCSWの実践から...」

西野伸一 社会福祉法人石井記念愛染園「大国保育園」園長
「子どもの声を社会に ~人権は細部に宿る~」

19:10 ディスカッション (モデレーター: 栗本英世 SSI副長・人間科学研究科教授)

19:40 食事をとりながらのダイアローグ

20:30 終了 (21時までには退出)

